

しかし、必ずしも両者は同一方向ではなく、時として相反することもあります。例えば身体拘束などは、倫理第一か安全優先かでよく議論が分かれる問題です。

そもそも、医療安全管理者は必ずしも臨床倫理に係るトレーニングを受けた経験があるわけではありません。にもかかわらず、組織内では臨床倫理に最も造詣が深い人間と目され、臨床倫理コンサルテーションに見様見真似で応じざるを得ない状況にあります。回答にあたっては、臨床倫理的視点か、あるいは患者安全の立場を重視すべきか、はたまた組織やスタッフを守ることを主眼とすべきか、非常に悩ましいという声も聞かれます。

そこで本分科会は、臨床倫理という大海で漂流する悩み多き全国の医療安全管理者のコンパスとなるべく企画しました。1日目は、医療安全と臨床倫理の関係について、医療安全管理部門の実際の取り組みと双方が問題になる事例から考えていきます。2日目は、病院の倫理コンサルテーションチームの活動なども紹介した後、倫理問題を考える際の「フレームワーク思考法」を使ってグループで事例検討を行い、現場における判断や対応プロセスを学んでいきます。また、例年どおり医療安全に関する最新のトピックも情報提供いたします。

なお、2日間全日程に参加された方には、参加証明書を発行します。

・日時 2019年1月19日(土)12:00～1月20日(日)16:00  
 ・場所 公益社団法人日本看護協会 地下2階JNAホール  
 (〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-8-2)

#### ・プログラム

##### 第1日目 1月19日(土)

12:00 受付開始

13:00 開会

日本医療マネジメント学会理事長 宮崎久義

13:10～13:50 基調講演

「医療安全政策の最新動向」

厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長 渡邊 顕一郎

13:50～15:20 講演

「医療安全と医療倫理の協働と棲み分け」

宮崎大学医学部附属病院医療安全管理部副部長  
 准教授 綾部貴典

15:30～16:20 講演

「身体拘束を巡る医療安全と臨床倫理」

千葉大学医学部附属病院地域医療連携部  
 医療の質向上本部医療安全管理部  
 特命病院教授 小林美亜

16:20～16:30 質疑・応答

16:30～16:45 本日のまとめと翌日の予定について  
 三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授/  
 副病院長 兼児敏浩

16:45 1日目日程終了

##### 第2日目 1月20日(日)

9:30～10:30 話題提供

「見落とし・遅れ・誤診 診断関連エラーという未開拓地」  
 千葉大学医学部附属病院医療安全管理部  
 教授 相馬孝博

10:30～11:10 講演

「倫理コンサルテーションチームの活動と看護部との連携」  
 独立行政法人労働者健康安全機構横浜労災病院  
 看護部長 渡辺潤子

11:20～12:00 ワークショップ導入1

「臨床倫理的課題が発生するとき」  
 三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授/  
 副病院長 兼児敏浩

12:00～13:00 昼食

13:00～13:40 ワークショップ導入2

「フレームワークを使った事例検討の進め方」  
 三重大学医学部附属病院医療安全管理部教授/  
 副病院長 兼児敏浩

13:40～15:10 ワークショップ

アドバイザー：三重大学医学部附属病院医療安全管理部  
 教授/副病院長 兼児敏浩  
 東京医療保健大学副学長 坂本すが

15:10～15:55 講評・振り返り

15:55 閉会挨拶 日本医療マネジメント学会  
 医療安全委員会委員長 坂本すが

16:00 閉会

#### 〈募集要項〉

- 会費 10,000円(但し、学会非会員15,000円)
- 定員 100名(定員を満たし次第締め切らせて頂きますので、お早めにお申込み下さい)
- 受付期間 2018年9月3日(月)～2018年12月17日(月)
- 問合せ先 日本医療マネジメント学会事務局

## 支部学術集会開催案内

### —第17回島根支部学術集会—

学術集会会長 益田赤十字病院院長 木谷光博

- ・テーマ 地域で切り拓く明日の医療～人と人との繋がりを目指して～